

質感と感性への計算論的アプローチ

講師：本吉 勇 先生（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）

日時：2012年3月2日（金）16：00～17：30

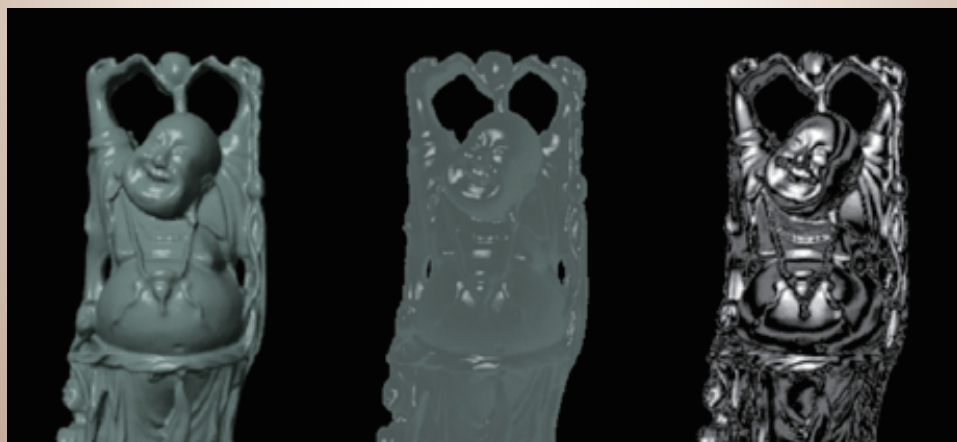
場所：新潟大学五十嵐キャンパス総合教育研究棟 D301 室

＊事前申し込み等は不要です。

私たちの目に映る世界は豊かでリアルな質感に満ちていますが、そうした感覚はどのように生じるのでしょうか。

本吉先生は質感知覚研究の世界的第一人者で、その研究成果は Nature 誌などへ掲載され国際的に高く評価されるとともに、国内外における近年の質感脳科学研究の盛り上がりを生み出す決定的要因となっています。

今回のご講演では、私たちの脳が質感をはじめとする感性的な情報をどのように「計算」しているかをご解説頂きます。また、そのような計算が人類の芸術様式をも規定するという説（生態学的芸術論）をご紹介頂きます。



上図の3体の像はそれぞれ、不透明な石（左）、透明感のあるゼリー状の材質（中）、金属（右）でできているように見えます。しかし、実は真中と右の画像は、左の画像を単純なルールに従って変換しただけです。このように、私たちの脳の「計算」の仕組みを参考にとすると、現代のCGで用いられるような複雑な物理シミュレーションとは異なる、極めて単純な方法で質感をコントロールできるようになるかもしれません。（参考 URL：<http://www.brl.ntt.co.jp/people/imotoyoshi/material-j.htm>）

お問い合わせは shirai@human.niigata-u.ac.jp（白井）まで。